

ティモニ

Cシリーズ



もくじ

はじめに

各部の名称と働き	1
安全上のご注意	2

使いかた

使いかた	4
------	---

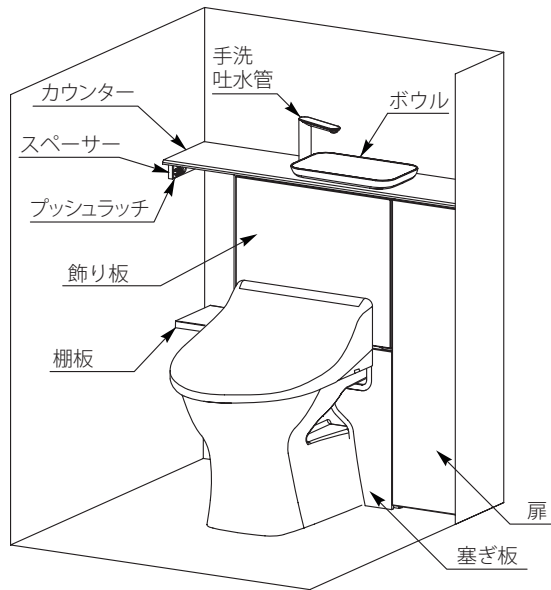
お手入れ・こんなときは

お手入れのしかた	5
長期間使用しない場合	6
凍結防止について	6
調整方法	7
修理を依頼される前に	9
アフターサービス	10
保証書	裏表紙

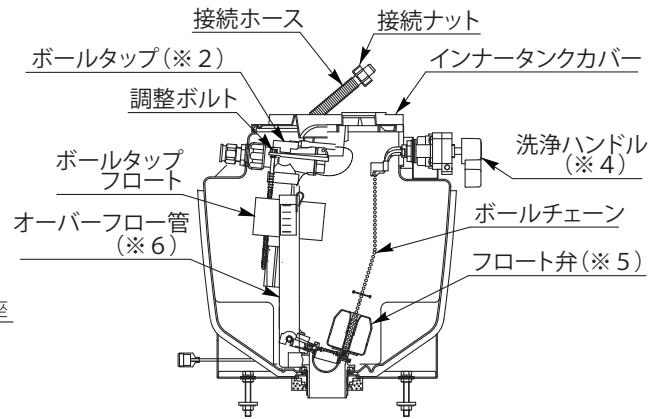
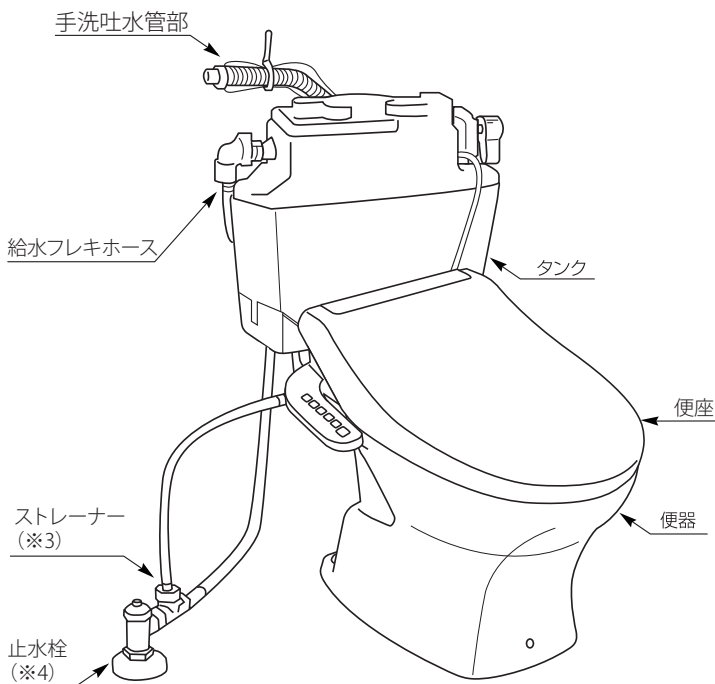
このたびは当社 ティモニ Cシリーズをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

- ◆ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に、「安全上のご注意」については、必ずご使用前にお読みいただき、安全にお使いください。
- ◆この取扱説明書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- ◆この取扱説明書は、裏表紙が保証書になっています。
- ◆温水洗浄便座については、温水洗浄便座の取扱説明書をお読みください。

各部の名称と働き



※上図は手洗いあり（人大カウンター）を示す。








<p>止水栓 (※1) トイレ内の水道の元栓です。保守・点検などで水を止める時、給水量の調整を行う時に使用する弁です。</p>	<p>ボールタップ (※2) タンクに一定量の水を溜めるための弁です。フロートの浮力により、タンク内の水が無くなると給水を開始し、一定量の水が溜まると止水します。</p>	<p>ストレーナー (※3) タンクの中に配管内のゴミや砂が入ると故障の原因になります。ゴミや砂がタンクに入るのを防ぎます。</p>
<p>洗浄ハンドル (※4) フロート弁を開けるためのハンドルです。停電時やリモコンの電池切れの時に使用します。</p>	<p>フロート弁 (※5) タンク内の水を便器鉢に流すための弁です。洗浄ハンドルの操作で起動します。</p>	<p>オーバーフロー管 (※6) 万一ボールタップが故障して給水が止まらなくなった時にタンクから水が溢れる前に、タンク内の水を便器鉢に逃がすための管です。</p>








安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



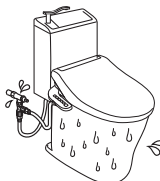


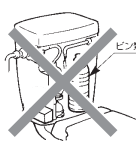



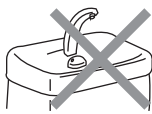
表示と意味

-  **警告** …… 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
-  **注意** …… 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
-  …… してはいけない禁止の内容です。
-  …… 必ず実行していただく強制の内容です。

 警告	
<p> 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしない。 ※故障したり、思わぬケガをする恐れがあります。</p>	<p> 電源プラグや電気製品に水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤、シンナーなどを使用しない。 ※破損や火災・感電の原因になります。</p>
<p> タバコや灰皿、ストーブ、ヒーターなどの火気類を近づけない。 ※火災や故障、変色の原因になります。</p>	<p> ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 ※感電の原因になります。</p>
<p> 電源コードを無理な力(曲げ・折れ・ねじれ)で傷つけたり、加工を絶対行わない。 ※火災や感電の原因になります。</p>	<p> 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない。 ※感電の原因になります。</p>
<p> 電源は交流100Vを使用し、コンセントにガタつきの無いことを確認のうえ、根元まで十分に差し込む。 ※交流200Vや直流電源を使用すると、火災や故障の原因になります。</p>	<p> 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く。 ※コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p> お手入れの際は、電源プラグを抜いてから作業する。 ※感電の原因になります。</p>	<p> 電源プラグに付いた埃は定期的に取り除く。 ※火災や感電の原因になります。</p>
<p> 水がかかったり、陶器の表面に結露が生じるような浴室などでは、絶対に使用しない。 ※漏電による火災や感電、故障の原因になります。</p>	

 注意	
<p> 陶器に熱いお湯をかけたり、衝撃を与えたりしない。 ※漏水のため家財を汚す原因になることがあります。</p>	<p> 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、傷を付けたりしない。 ※漏水や作動不具合の原因になります。</p>
<p> 便ふたや便座・カウンターの上に乗ったり、重いものを乗せたりしない。 ※破損してケガをする恐れがあります。</p>	<p> 便器やキャビネットに強い力や衝撃を与えない。 ※破損してケガや漏水の原因になります。</p>
<p> 便器に汚物が付着したまま放置しない。 ※乾燥して取れにくくなる場合があります。 ※洗濯用ブラシで汚れを落とし洗い流してください。</p>	<p> 便器には新聞紙、ティッシュペーパー、紙おむつ、生理用ナプキンなど、汚物やトイレトペーパー以外の物は流さない。もし誤って便器内に落とした場合には、必ず拾い出す。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財に損害を与えるおそれがあります。</p>

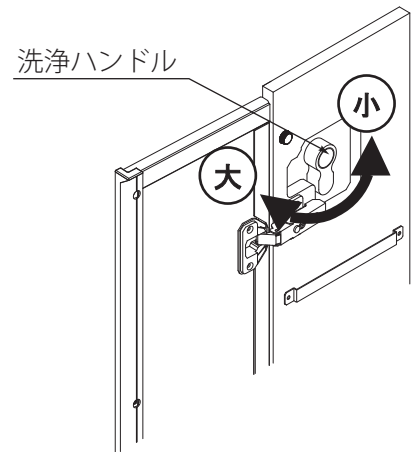
⚠ 注意

<p>⊘ 陶器にヒビが入ったり、割れたりした場合、破損部には絶対に素手で触らない。 ※破損部でケガをするおそれがあります。</p> 	<p>❗ 必ずタンク内が満水になってから水を流す。 ※タンク内が満水になる前に水を流すと洗浄不良や詰まりの原因になり、家財に損害を与えるおそれがあります。</p>
<p>❗ 便器が詰まった場合は、市販のラバーカップなどを使用して詰りを除去する。 ※詰まったまま水を流すと、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 	<p>❗ 結露が発生した場合は、乾いた布などで拭き取る。 ※結露は、床にシミが発生したり、腐ったりする原因になることがあります。</p> 
<p>❗ ボールペン・くし・歯ブラシ・携帯電話などを便器に落とした場合は必ず拾い出す。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 	<p>⊘ 直射日光を当てない。 ※変色の原因になります。</p> 
<p>⊘ タンク内に異物を入れない。 ※水量不足により洗浄不良・便器詰まりを起こし、汚水があふれ、家財に損害を与えるおそれがあります。</p> 	<p>⊘ 手洗鉢の中に造花などの飾り物を置かない。 ※止水不良の原因になったり、手洗鉢から水があふれて、家財に損害を与えるおそれがあります。</p> 
<p>⊘ 手洗器で手を洗うときは、石鹸などを使用しない。 ※故障の原因になります。</p> 	<p>⊘ 手洗器を外したまま使用しない。 ※タンクから水が噴出し、家財を濡らす原因となります。</p> 
<p>⊘ 洗浄芳香剤などをタンクの中に入れない。また、手洗鉢にトイレ用芳香洗浄剤を置かないください。 ※漏水や止水不良・作動不良の原因になり、家財など損害を与えるおそれがあります。</p> 	<p>⊘ お手入れに酸性・アルカリ性・塩素・フッ素系洗剤、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類は使用しない。 ※洗剤によっては気化ガスが発生することにより、便座やタンク等の内部器具を傷め、止水不良・部品破壊・外部漏水などの不具合が発生し、家財に損害を与えるおそれがあります。また、樹脂製品が変色・溶解・破損などが発生するおそれがあります。</p>
<p>⊘ 定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。 ※部品の劣化等による水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>⊘ 大量のトイレペーパーを一度に流さない。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財に損害を与えるおそれがあります。</p>
<p>❗ 扉が傾いていたり、ガタついている時は、ねじを締めなおすか販売店にご連絡ください。 ※放置しておくと扉が落下してケガをする恐れがあります。</p>	<p>❗ 凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。 ※凍結破損により室内浸水の原因になります。</p>
<p>⊘ 収納部の棚には2kg以上の物を置いたり、力をかけない。 ※破損やケガの恐れがあります。</p>	<p>⊘ キャビネット内部に水をこぼさない。 ※床へ漏水し家財を濡らす恐れがあります。 ※木が水を含みキャビネットや床が傷む恐れがあります。</p>
<p>❗ 扉は静かに開閉する。 ※破損する恐れがあります。</p>	<p>⊘ キャビネットを水洗いしない。また水をこぼした際はすぐに乾いた布で拭き取る。 ※木が水を含みキャビネットや床が傷む恐れがあります。 ※腐食やカビ発生の恐れがあります。</p>
<p>❗ 吐水管の清掃は柔らかい布で拭く。ブラシやメラミンスポンジ等は使用しない。 ※傷等の恐れがあります。</p>	<p>❗ 水がカウンターや壁に飛び散った際はすぐに乾いた布で拭き取る。 ※腐食やカビ発生の恐れがあります。</p>

使いかた

■便器の洗浄方法

- 温水洗浄便座のリモコンで操作します。
「大」または「小」スイッチを押してください。
- 停電時やリモコンの電池が切れて操作できない時は、キャビネット右側の扉を開け洗浄ハンドルを回してください。
※女性の小用の場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので、「大」の方でお使いください。
※一度洗浄してから間を置かず洗浄を行うと、十分に洗浄できない場合があります。タンクに水が溜まってから操作してください。手洗付き便器の場合、吐水管から水が流れている間は洗浄操作を避けてください。



■断水したときの便器鉢内の洗浄のしかた

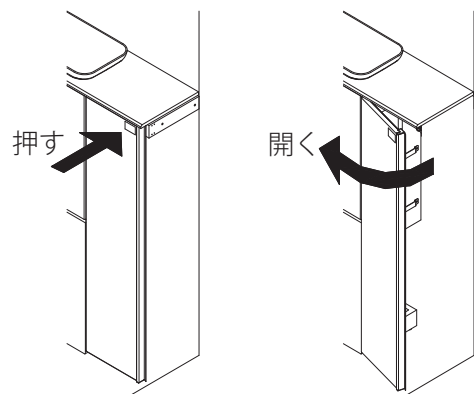
- バケツ 1 杯 (5~6L) の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3~4L の水を注いでください。
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く (短時間に一気に) して、再度行ってください。
※小洗浄も同じように流してください。

注意

- 女性の小用の場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので、「大」の方でご使用ください。
- 前の洗浄から間を置かず次に行くと、洗浄ができない場合があります。
このようなときは少し間をおき、タンク内に水が十分たまってから洗浄ハンドルを操作してください。
※手洗付きの場合で、吐水口から水が出ている時は、洗浄を避けてください。
- 汚物は個人差・体調によって異なります。汚物の量や状態によっては、便器水たまり面周辺、水中の陶器表面にも汚物が付着し、水のみでは洗い流せない場合があります。
- 汚物やトイレットペーパーの量に応じ大洗浄小洗浄を使い分けてください。汚物の大きさや量、比重の違い、トイレットペーパーの量によっては2度以上の洗浄が必要となる場合があります。
- 一度に大量のトイレットペーパーを流さないでください。便器・排水管のつまりの原因となります。

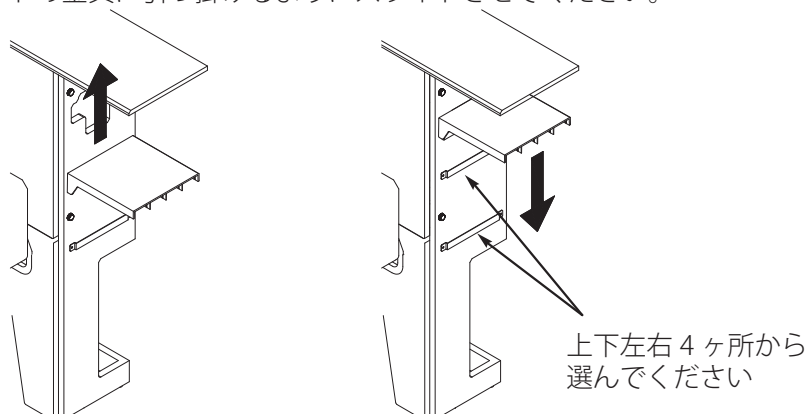
■扉の開閉方法

- 扉を開ける際は扉表面の「この部分を押しください。」のラベル辺りを押すと扉が手前に出てきます。手を掛けて開けてください。扉を閉める際は静かに扉を閉めて「この部分を押しください。」のラベル辺りをカチッと音がするまで押してください。



■棚の位置の換え方

- 棚の取り外し
棚板を上へスライドさせて取り外してください。
- 棚の取り付け
棚板の金具をキャビネットの金具に引っ掛けるようにスライドさせてください。



お手入れのしかた

- 商品の機能や性質を保つために、清掃や消耗部品交換など日ごろから適切な維持管理を行ってください。なお、クレンザーやみがき粉などの研磨剤の入った洗剤は、表面を傷つけますので、使用しないでください。

■便器鉢内（陶器）のお手入れ

- 便器の洗浄面は水で洗われますが、便の状態によっては付着して落ちにくいことがあります。そのまま放置しておくとう乾燥して取れにくくなりますので、汚れたらすぐに洗い流してください。汚れがひどい場合は、掃除用ブラシやスポンジに中性洗剤を含ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

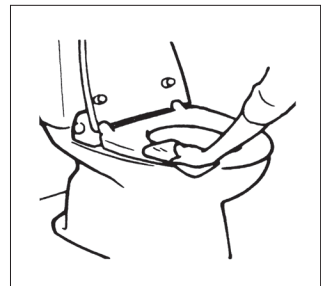
- 洗剤などを使用するときは、使用後ただちに洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしてください。また、便器や便座についた洗剤は確実に拭き取ってください。

※洗剤によっては気化ガスが発生することにより、便座やタンク等の内部器具を傷め、止水不良・部品破壊・外部漏水などの不具合が発生し、家財に損害を与えるおそれがあります。また、樹脂製品が変色・溶解・破損などが発生するおそれがあります。



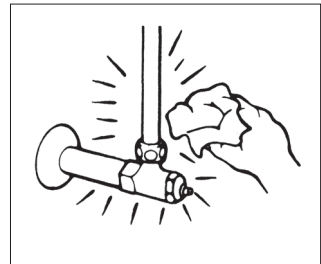
■便座・便ふた・カウンターなど（樹脂部） 手洗吐水管（樹脂メッキ部）のお手入れ

- 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を100倍程度に薄め布に含ませて、拭き洗います。その後は必ず水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。



■止水栓（金属メッキ部）のお手入れ

- やわらかい布でカラ拭きしてください。時々ミシン油やカーワックスなどを含ませた布でみがいてください。

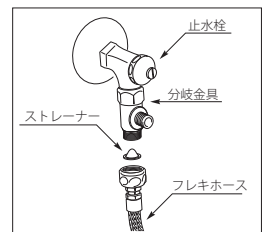


注意

- 熱湯は使用しないでください。
- ガラス質を侵すフッ素化合物の入った洗剤は使用しないでください。
- 表面を傷つける恐れのあるクレンザー、みがき粉、金属またはナイロンたわし、ブラシ等は使用しないでください。
- 酸性・アルカリ性・塩素・フッ素系洗剤、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類は使用しないでください。

■ストレーナーのお手入れ

- 以下の要領でストレーナーのゴミを取り除いてください。
 - (1) 止水栓をマイナスドライバーで右に回し、給水を止めます。
 - (2) フレキホースの袋ナットをスパナなどでゆるめ、取り外します。このとき、布きれなどで金具を保護してください。
※止水栓内には水が溜まっていますので容器で水を受けてください。
 - (3) 止水栓の入り口に組み込まれているストレーナーを取り外して、掃除します。
 - (4) ストレーナーの掃除後、元のように取り付けてフレキホースの袋ナットを締め付けます。
 - (5) 止水栓を開き漏水確認をしてください。



■結露について

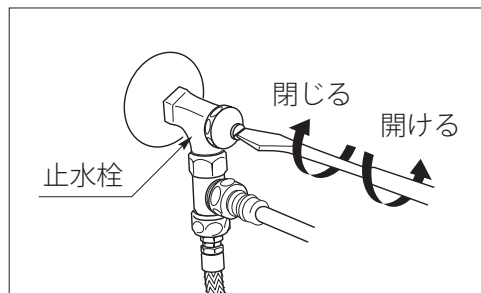
- 温度と湿度の条件により、便器や止水栓などに結露することがあります。結露を防ぐには換気を十分に行うことが効果的です。結露が生じた時は、乾いた布で拭きとってください。床のシミや腐食の原因になります。

長期間使用しない場合

- 旅行等で長い間使用しないときは、万一の故障等のために以下の操作を行ってください。

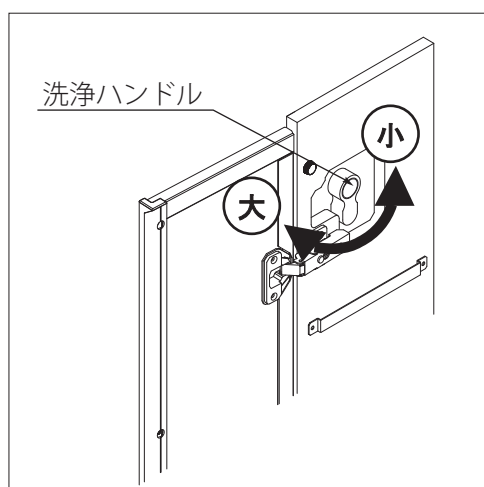
■止水栓を閉じる

- 止水栓をマイナスドライバーやコイン等で右方向に回して閉じ、ロータンクへの給水を止めます。
※止水栓は施工時に給水量を調整しています。再使用時に元の位置に戻してください。閉じる時に回した角度を確認しておき、開ける時に同じ角度に戻してください。
- 水道配管に水抜き栓が設置されている場合は、水抜き栓の操作も併せて行ってください。



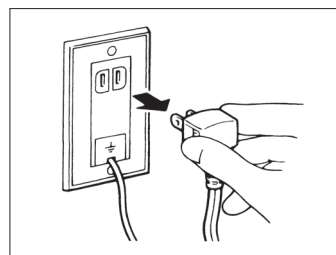
■タンク、便器鉢内の水を抜く (凍結のおそれがある場合)

- タンクからの排水が止まるまで洗浄ハンドルを回し、便器鉢内の溜水を汲み出した後、バスタオル等でふさいでください。
- 不凍液を使用する場合は、そのまま流さずに正しい廃棄処理を行ってください。
※適切な処理を行わないと、浄化槽の機能低下や環境汚染などのおそれがあります。



■電源プラグを抜く

- コンセントから電源プラグを抜いてください。
※電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。



凍結防止について

- 室内を暖房して、タンクや便器鉢内の溜水が凍結しないようにしてください。
- ヒーター付き便器をご使用の場合は、ヒーターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
※凍結の恐れのないときは、電源コードを抜いてください。
- 止水栓を閉じ、タンク内の水を抜いてください。
- 水道配管に水抜き栓が設置されている場合は、水抜き栓の操作を行いタンク内の水を抜いてください。
- 温水洗浄便座の温水温度を高めを設定してください。
- 便器の止水栓開度によっては、止水栓内の残水が凍結し、再通水に時間がかかる場合があります。

■トイレ内の使用限界温度について

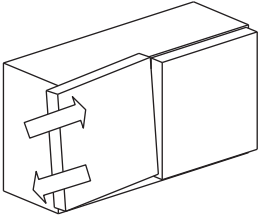
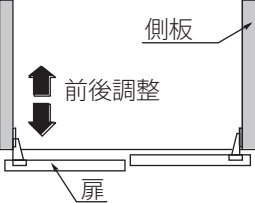
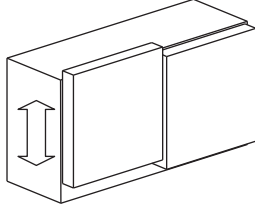
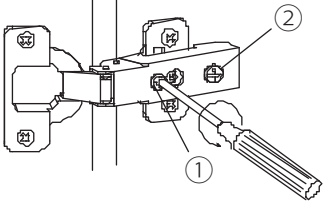
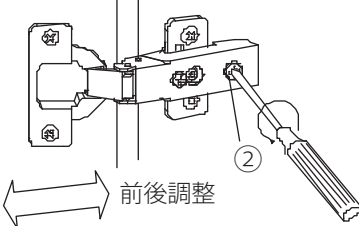
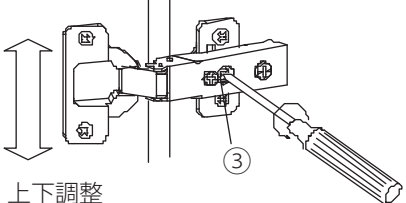
凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

- ヒーター水抜併用式便器の場合…… -15℃以上
- 上記以外の便器 …………… 0℃以上
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。
※温水洗浄便座をご使用の場合は0℃以上です。

調整方法

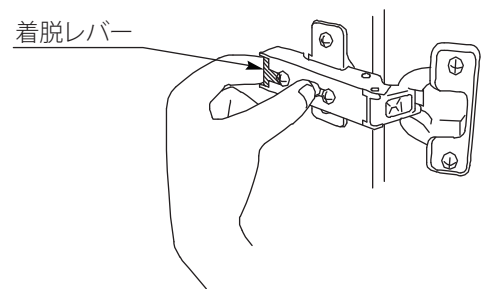
■丁番の調整方法

- 扉がガタついたり扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。
- 扉ががたつく：丁番固定ネジをプラスドライバーで締める。
- 扉が閉まらない・揃わない：丁番のネジで調整する。

扉の状態	左右に傾いている場合 左右調整 	前後に傾いている場合 	上下にずれている場合 上下調整 
調整のしかた	①のネジの締め込み代で調整した後、②のネジを締める。 	②のネジをゆるめて扉の前後位置を調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。 	③のネジをゆるめて扉の上下位置を調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。 

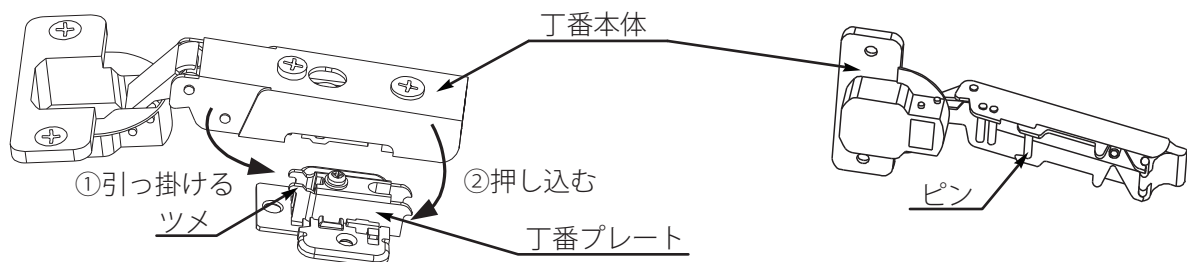
■丁番のはずしかた

- 中央の穴を押さえた状態で、着脱レバーを押しあげてください。



■丁番の取付けかた

- 丁番本体のピンを丁番プレートのツメに引っ掛け、続いて丁番本体の奥側を丁番プレート側に押し込んでください。



調整方法

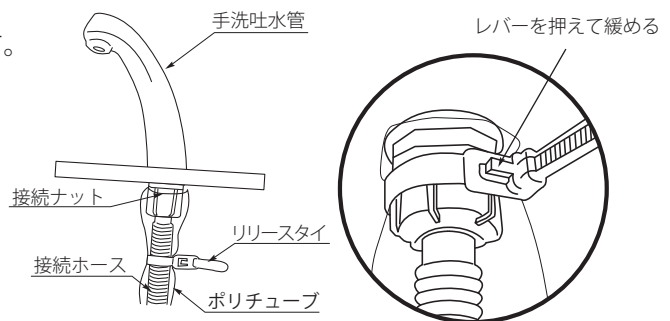
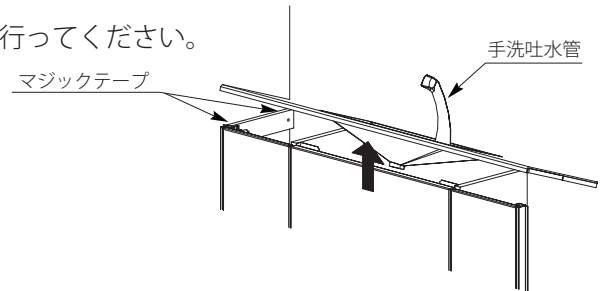
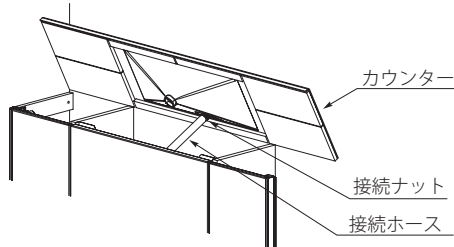
■ロータンクの調整

- 器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、不具合があったり、動かした場合、機能を十分に発揮できるように調整を行ってください。
- 【給水量の調整】⇒【止水位置の調整】の順番で同時に行ってください。

●カウンターの取り外しかた

(手洗いなしの場合は②までです)

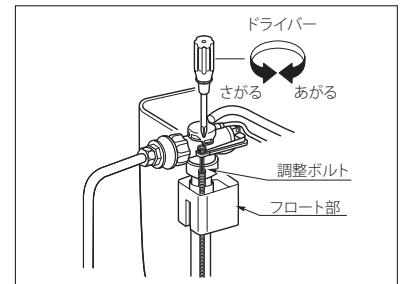
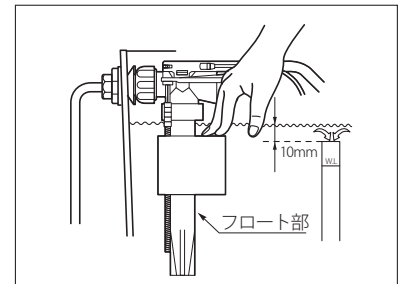
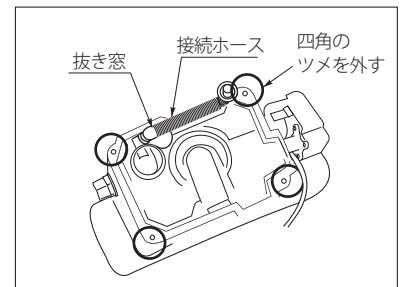
- ①止水栓を閉じます。
- ②カウンターの手前側を持ち上げ、カウンターを固定しているマジックテープを外します。
- ③ポリチューブを留めているリリースタイをレバーを押さえながら緩めます。
- ④ポリチューブを移動させて、接続ナットを緩めます。
- ⑤手洗吐水管から接続ホースを抜き、外します。



●【給水量の調整】

- ボールタップが故障して止水しない場合でも、タンクから水が溢れないようにするため、必ず給水量を調整してください。

- ①止水栓を閉じます。
- ②インナータンクカバーを外します。
※インナータンクカバーの四角のツメを順番に外していきます。
- ③止水栓を少し開きます。
- ④手洗付き便器の場合は手洗吐水管への接続ホースをタンク内に向けて入れ、水が飛び出さないようにしてから止水栓を開きます。
- ⑤フロート部を押し下げたまま、水面がオーバーフロー管の上端より10ミリ以上上昇しない程度(※)になるか確認してください。
- ⑥③または④と⑤を繰り返し(※)になる様に水栓の開きを調整してください。



●【止水位置の調整】

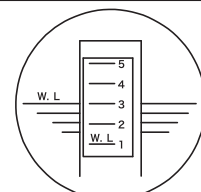
- 水圧条件などによりタンクの貯水量が変わる場合があります。給水量の調整をした後、止水位置を調整してください。

- ①タンクのハンドルを操作しタンク内の水を排出し、改めて水を溜めます。
- ②止水した時の水位をオーバーフロー管に表示されている「W.L.」ラインに合わせます。
 - ・床下排水便器：W.L.ラインの1～5の範囲で調整
 - ・床上排水便器：W.L.ラインの3～5の範囲で調整

※水位を上げる場合：ボールタップの調整ボルトを右方向に回します。
※水位を下げる場合：ボールタップの調整ボルトを左方向に回します。
※調整ボルトはプラスドライバーを使って回すことができます。

- ③調整が終わったら、インナータンクカバーをタンクに取り付けます。
※インナータンクカバーの四角を確実にタンクのツメに掛けて取り付けてください。

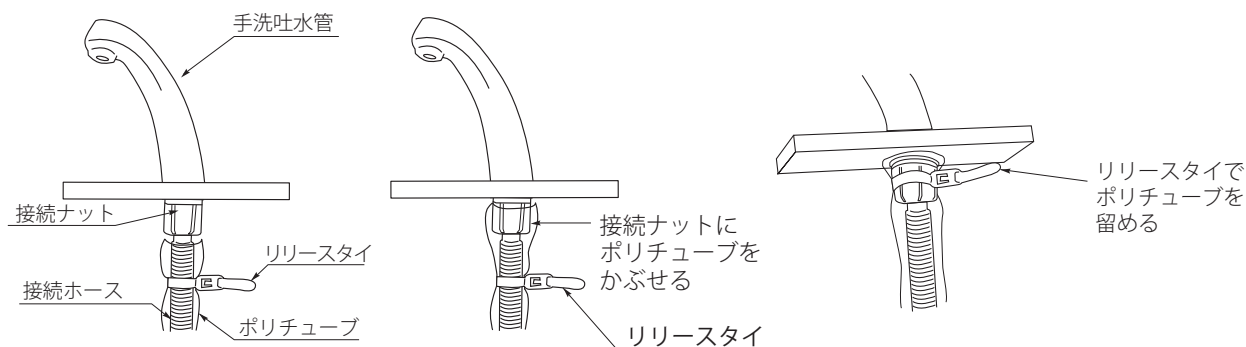
- ※手洗付き便器の場合は、接続ホースをインナータンクカバーの抜き窓から取り出してください。



調整方法

●手洗い吐水管と接続ホースとの接続（手洗付き便器の場合）


- ①接続ホースの先端を手洗い吐水管に差し込み、接続ナットを締め付け接続します。
- ②ポリチューブを接続ナットにかぶせ、リリースタイを接続ナットと座付きナットの間で締めポリチューブを留めます。
- ③ポリチューブのボールタップ側の端は、インナータンクカバーの抜き窓からタンク内に入れてください。



●カウンターの取付

- カウンターをキャビネットに載せマジックテープで留めてください。

修理を依頼される前に

現象	原因	処置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。 (1) 便器排水口をふさぐようにしてラバーカップを静かに押しつけます。 (2) 勢いよく手前に引いたり、排水口に向けて押し付けたり、数回繰り返します。 このとき、透明ビニールシートなどでカバーしておくことと汚水の飛び散りを防ぐことができます。 
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(5ページ参照)
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。 トイレットペーパーを多めに流していませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(5ページ参照) 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。(4ページ参照) 1度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では5m程度までを目安にしてください。
便器内に水が流れ続ける（水が止まらない）	補給水ではありませんか。	洗浄してから5分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。 便器の溜水を確保するための補給水です。
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。	
用便時に水がはね返る（おつり）	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただければ軽減できます。
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。	
手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(5ページ参照)
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルにご連絡ください。



0120-557-910 受付時間9:00～18:00(土日祝、夏季・年末年始休業日を除く)

※PHS・携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品品番
- (2) 異常の状況
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前・ご住所・お電話番号

【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

■インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

タカラスタンダードお客様サポートサイト <http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。
修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈よくあるご質問〉

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。
修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

〈消耗品・小物のご注文〉

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。
※一部、取扱いのない商品もございます。フリーダイヤル(0120-557-910)までお問い合わせ願います。

※お客様の個人情報の取扱いについて
個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関連会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書ご提示の上、お買い求めの販売店または、P10に記載のフリーダイヤルに修理をご依頼ください。

品名：	保証期間	取付け・引渡し日より 2年：全般
品番：		取付け・引渡し日より 5年：防水機能
お客様 お名前	取付け・引渡し日 年 月 日	
ご住所	販売店	
電話番号		

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」「製品貼付ラベル」などの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合、表記の期間無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の販売店に修理をご依頼できない場合は、P10に記載のフリーダイヤルにご相談ください。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
 - ②お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
 - ③施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
 - ④建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する不具合
 - ⑤塗装の色あせ等の経年変化または使用にともなう摩耗等による外観上の不具合
 - ⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ⑦ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - ⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
 - ⑨消耗部品の劣化による不具合
 - ⑩配管への異物流入に起因する不具合
 - ⑪温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合
 - ⑫寒冷地仕様でない場合の凍結による不具合
 - ⑬指定規格以外の電源を使用したことによる不具合
 - ⑭電気・給水の供給トラブル等に起因する不具合
- 本書の取付け・引渡し日、販売店、お客様の欄に記載のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合は無効となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な点がある場合は、お買い求めの販売店または、P10に記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鴨野東1丁目2番1号